

平成 20 年 3 月 24 日  
日興コーディアル証券株式会社

## 日興コーディアル証券 2008 年 春季部店長会議 (3 月 22 日) 北林幹生 (取締役社長) 発言要旨

### 要旨

---

「グローバル化と市場拡大」が進む日本の証券市場において、昨年来、行政や証券取引所は、日本の金融・資本市場の競争力強化に向けて、更に舵を切り始めている。

貯蓄から投資への大きな流れは現在足踏みをしているものの、証券市場の拡大は今後より本格化するものと考えている。証券市場の拡大に伴い、日本の個人投資家は更に成長すると予想され、日本企業は生き残りをかけたグローバルな経営戦略を実行している。

このような環境の中で、今後 12 ヶ月以内を目処に、日興コーディアル証券と日興シティグループ証券の証券機能をひとつの会社に統合することにより、業務が効率的になり、お客様からも分かり易い証券会社になるものと考えている。そして、日興の国内営業基盤とシティのグローバル・ネットワークがバランスよく機能する「最も日本的で、最もグローバルな証券会社」の体制が整うと考えている。

### 新・中期経営計画

---

➤ 経営方針

「国内 No. 1 の金融サービス会社」を目指す

➤ 「役社員」、「金融商品」、「サービス」、「経営効率」の各分野における『クオリティ No. 1』を実現することにより、国内 No. 1 の金融サービス会社に向けて、確固たる地位を築く

- 役社員 = 業界・地域において最高レベルの人財  
(お客様に最高の信頼を頂く)
- 金融商品 = ベストプロダクト・ポリシーの貫徹  
(「あらゆる投資」に対応する商品ラインアップ)
- サービス = お客様にとって価値あるサービス  
(その時必要な、気持ちのこもったサービス)
- 経営効率 = コストコントロールとリスクコントロール  
(更なる経営効率の追求)

## 営業戦略

---

- **リテール部門** : 「**地域 No.1 を目指す**」
  - 5本部制によるお客様との接点の強化・拡大
  - コンサルティング能力の向上による富裕層ビジネスの拡大
  
- **ホールセール部門** : 「**シティバンク銀行、日興シティグループ証券との協働強化**」
  - フルカバレッジ、フルライン・サービス体制のフル活用
  - 変化を捉え、多様化するお客様のニーズに即応
  
- **本社部門** : 「**更に高い経営効率の追求**」
  - 継続的なコストコントロールとリスクコントロールによる経営体質の強化

## 私たちが実行すること

---

- 「**お客様を中心に考える**」 & 「**一生懸命**」
  - 市場説明力、商品説明力、目標をやり抜く責任感、そして笑顔も大切
  - 「夢、好奇心、正直、感謝の気持ち」をもって魅力的な社員として仕事に取り組む
  - お客様に安心感を与え、私たち日興の信頼を高めるサービスを提供する
  - お客様からの高い期待に応える

以上